

食育に関する施策の進捗状況の概要（平成25年度取組実績）

＜施策展開の3つのポイント＞

- I 富山の「食」に着目した「富山型食生活」の確立
- II 家族そろった楽しい食事で健全な食生活の実現
- III 家族を中心とした食育を地域でしっかりと支援

【実績の概要】

【主な取組み】

I 富山の「食」に着目した富山型食生活の推進

富山型食生活の普及など
県民運動の展開

- ①富山型食生活モデルメニューの確立・普及
- ②とやま食育推進フォーラムの開催
- ③県食育推進計画の普及・啓発

地産地消の推進

- ①「越中とやま食の王国フェスタ」の開催による普及・啓発
- ②学校給食における地場産品の活用促進
- ③子どもたちに対する魚食の普及
- ④インショップの開設等の支援
- ⑤女性起業組織等への活動支援
- ⑥富山県ふるさと認証食品（Eマーク食品）の認証
- ⑦地産地消県民運動の推進

魅力ある食文化の継承・創造

- ①新たな「とやま名物」商品開発
- ②「とやまの食」を普及する人材の認定
- ③「とやま食の街道」の魅力充実
- ④越中料理のブランド化の推進

II 家族そろった楽しい食事で健全な食生活の実現

家族そろった健全な食生活の
実現

- ①家庭教育かわら版の刊行
- ②とやま食材ふれあい講座の開催
- ③三世代ふれあいクッキングセミナーの開催
- ④富山型食生活普及事業
- ⑤若者世代に対する食育講座の開催
- ⑥食生活改善チェックシートの作成・活用
- ⑦外食産業等と連携した普及・啓発

保育所・幼稚園・学校等に
おける食育の推進

- ①毎日しっかり朝ごはん事業の推進
- ②栄養教諭を中核とした「望ましい食習慣づくり」の推進

III 家族を中心とした食育を地域社会でしっかりと支援

地域で支えあう食育の推進

- ①食育リーダーの養成・派遣
- ②ヤングファミリーに対する食育講座の開催
- ③とやま子育て応援団制度の推進
- ④地域食育推進体制強化事業の推進
- ⑤バランスアップ健康プロジェクトの実施
- ⑥若者を対象とした食育指導の充実

食品の安全確保

- ①食品安全フォーラムの開催
- ②食の安全・安心ホームページの運営
- ③食品表示講習会の開催

- ①県内各地域の食育団体が実践している「健康メニュー」・「伝統料理」などの富山型食生活モデルメニューや「とやまの家庭料理メニュー集」について、食育リーダー等の活動や各種イベント、ミニコミ誌を通じて普及・PR
- ②6月にフォーラムを開催（参加者約80名）
- ③マスメディアや食育関係団体の研修会、イベント等を通じて普及啓発

- ①31,000人を超える秋の陣、冬の陣の来場者に、富山ならではの食材や「越中料理」、「食生活モデルメニュー」を紹介
- ②地場産野菜・果実を活用した特別給食を107品目、276校で実施。米飯給食回数は週3.6回
- ③高校生等に対し魚食に関するセミナーを6回開催、県内5年生に副読本を配布、学校給食に321千食を提供
- ④量販店内の地場農産物を販売するインショップの品揃えの充実等を支援
- ⑤「スキルアップ講座」「チャレンジ事業」等により、女性起業組織の新商品開発等を支援（女性起業件数164）
- ⑥新たに18商品が富山県ふるさと認証食品に認証（H26.3現在 累計31品目322商品）
- ⑦「地産地消県民交流フェア2013」の開催。「とやまの旬の応援団」の募集・登録（H26.3現在：3,074個人・団体）及び活動支援を行うとともに、県産品の優先的選択の動機付けとなるよう「県産品購入ポイント制度」を実施

- ①農商工連携事業により、加工品、酒類など6件の商品開発・販路開拓を支援
農林漁業者の6次産業化に向けた取組みを支援する県単独の支援制度で地域資源を活用した6件の取組みを支援
- ②「とやま食の匠」制度の推進により「とやまの食」を普及する人材として165個人・団体を登録（特産の匠74、伝承の匠57、創作の匠34）
- ③バスツアーの誘客や「とやま食の街道」のクーポン付きリーフレットの作成・配付
- ④「越中とやま食の王国フェスタ」冬の陣で「越中料理と地酒を楽しむ会」を実施。202名に県産食材を使った越中料理や地酒をPR

- ①家庭教育かわら版の秋・冬号で「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活習慣を啓発（小学2年までの保護者に7万部配布）
- ②8市町村で計206回の講座を開催。子どもや地域住民約1万3千人が農業体験や料理教室に参加（H24：199回→H25：206回）（H24：10,533人→H25：13,344人）
- ③食生活改善推進連絡協議会が「三世代ふれあいクッキングセミナー」を101回実施、3,826人が参加
「いざというときのレシピ集」を作成し、災害時のための食の備蓄の重要性等を普及啓発
- ④食生活改善推進連絡協議会が市町村推進員への研修会を実施（25回766人）。地域住民を対象とした「いきいきとやま食育クッキング」の開催（25回528人）
- ⑤栄養士会が高校、専門学校、事業所等に講師を派遣（計13回）し、398名の若者に食生活の正しい知識を啓発
- ⑥食生活改善チェックシート（若者男性編、女性編）を作成し、食育リーダー等による普及、イベントで活用
- ⑦「健康づくり協力店（飲食店等113店舗）」を巡回し、富山型食生活などを普及・啓発

- ①のぼり旗、カレンダーにより、朝ごはんをとることの大切さや正しい箸の持ち方等を啓発
- ②栄養教諭を増員配置（H22：20名→H25：27名）。農業・親子料理教室、教科や特別活動における指導の充実、食育だより等の発行など、食に関する計画的・継続的な指導により、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施し、食育や地産地消を推進

- ①栄養士など42名の食育リーダーが登録され、地域の講演会・研修会に49回派遣
- ②若い保護者世代を対象に、食と健康や正しい食習慣に関する知識等を紹介する食育講座（19回）に講師を派遣。
- ③子育て家庭のふれあいを深める機会を支援する店舗数2,404。「家族そろっての食事」等を支援
- ④各厚生センターにおいて関連教材の貸出し（63回）や出前イベント（7回）を実施
- ⑤スーパーマーケット等の民間産業と連携してメニュー改善に向けた取組みを実施（栄養バランスに配慮したお弁当の共同開発、購入者アンケート、普及啓発イベント等）。食環境整備講習会の開催や、減塩・野菜摂取促進の普及啓発チラシの作成など、県民の生活習慣病予防対策を推進。
- ⑥「若者向け簡単クッキングレシピ集」の作成や若者食育実践セミナーを開催し、栄養バランスの良い食事についての講習と調理実習を実施（2回50人）

- ①食品中の放射性物質対策をテーマとしたフォーラムの開催（1回：170名）。一般県民を対象とした「楽しく学べる！食の安全・安心体感ランドinファボーレ」、「食の安全・安心フェア～今、富山からできること～」の開催（2回：約5,000名）
- ②食品安全や表示などに関する適時的確な情報提供を実施（2万4千件のアクセス）
- ③食品表示ウォッチャーによる食品表示実態調査の実施。食品表示講習会の開催（4回）や研修会等への講師派遣などにより、食品事業者などに対し適正な食品表示を指導